京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年 紀元二千五百六十九年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
大祭日及び日曜日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

甘茶澁茶

▲地位哉地位哉

今は國報となりしも一たびル氏遭難の報の傳へられ、一のル氏の作るゝも米は復た更に一のル氏を生せん、ル氏の如きものは米國は其れ決して稀ならず、一系も之れが爲めに亂れず、萬事整然として行く、藤公逝て上下之れが爲めに狽て百事之れが爲めに荒さみ藤公の後復た藤公なきが如きは我國の最も愧ぢらふべきとなりとは殴公の語りし所なり、然り實に愧ぢらふべきなり、然れども我國復た藤公なきは實に其れ藤公なきにはあらず、世が人をして藤公たらしめざるなり、人をして藤公の地位に置かざるなり、若し夫れ藤公の地位に置くものとせば世は藤公の如きもの百をも以て數へつべし、唯地位の與へられざるを恨むのみ、地位哉地位哉地位はよく終に藤公を作れり。

▲三税廢止の理

三税廢止も久しいもの哉、而して今尚は終に廢止されず、之を廢するの非なるか之を癈するの難きか、政府は將に一千萬圓を以て地租の低減を爲さんとす、焉ぞ知らん百姓の苦るしめるは地租の重きが故にあらずして衣食に苦るしめるとを、蓋し三分三厘の地租を斂むるの秋、米の相場は全國平均四圓三十錢を示し、五分五厘の今日實に十二圓臺に上り偶には十五圓臺をも示すとあるに、豐作に醉へる百姓の尚は生計に苦しむは抑々何が故ぞ、此處まで云ひなば三税の廢止せられざるべからざる理も明かとなるべし。

▲煙草となる勿れ

煙草は甘きか曰く知らざるなり、然らば辛きか曰く知らざるなり、苦きか酸きか曰く知らざるなり、煙草は味なし故を以て飽かす、酒はうまきか曰く然るなり、心に快よきか曰く然るなり、酒は味あり故を以て飽くなり、米は甘きか曰く知らざるなり、然らば辛きか曰く知らざるなり、苦きか酸きか曰く知らざるなり、米は味なし故を以て飽かず、猶は煙草の如し、唯一は体を養ふも一は不らず、米は一日無かるべからざるも煙草は百年なかるべきなり、若し夫れ酒に至ては一日なくして可なるも一年無かるべからず、人の世に處す、一日一年無かるべきの米酒となるとも百年無るべきの烟草となる勿れ

博士の内陸旅行

（美術史調査の爲め）

東京帝國大學教授工學博士關野貞氏は韓國政府の囑託に依り古代建築物並東洋古代の建築美術史研究の爲め補助文學士谷井濟一、工學士栗山俊一兩氏を隨へ北韓に出張し此程調査を了へて歸京更に昨十日京城を出發せしが慶州地方の調査を爲し明十二日陸京揚州、水原、北漢山等近畿地方調査の後十九日東大門外の寺院を二十日景福宮等を見、其の午後廣通館に於て一場の講話を爲し二十四日京城出發烏致院公州、江景、扶餘を經て沃川の俗離寺を過り大邱、永川、慶洲、蔚山を觀察し梁山に到り通度を見東萊より釜山に出で歸朝の豫定なりと

暴徒討伐彙報

（軍參謀長より報告）

一、全南院村憲兵分遣所上等兵一補助員三は十月十八日同地東南約二里半の地に於て賊七と衝突其一を殪し銃一を鹵獲す

二、全南順天憲兵分遣所上等兵二、補助員四は十月廿日同地守備兵六及巡査一と共に同地南方約一里の地に於て賊十七と衝突其二を殪す

三、江原道通川憲兵分遣所上等兵一補助員三は十月廿一日同地西南約七里の地に於て賊十五と衝突其一を殪し銃三を鹵獲す

四、全南飛鴨場憲兵派遣所上等兵一補助員三は十月廿五日同地東北一里半の地に於て賊五と衝突其一を殪し之を潰走せしむ

五、慶北醴泉憲兵分遣所上等兵一補助員二及同地駐在巡査二は十月廿六日同地東方約三里の地に於て賊十三と衝突其一を傷く

六、慶北豐基憲兵分遣所上等兵二補助員四及同地駐在巡査二は同地西南三里の地に於て四十の賊と衝突其七を殪し銃二刀三を鹵獲す

七、江原道伊川、玉洞兩憲兵分遣所上等兵四補助員十は鐵原北方約五里半の地に於て賊十三と衝突其四を殪し銃四刀一を鹵獲す

八、左記警備電話は頭書の月日を以て通話を開始す

十月二十日	全北	古阜茁浦間
十月廿二日	忠北	忠州陰城間
十月廿三日	同	陰城清安間
十月廿四日	同	清安清州間
十月廿七日	慶北	延日長鬐間
十一月五日	同	榮川奉化間
十一月六日	全南	麗水順天間



第二十九席

伯山改 神田松鯉口演

頼長は笑つて『ヤヨ爲朝、汝は年少にして徒らに勇を負へり、多く戰ひたりと雖も小迫合に過ぎず、今二帝位を爭ひ給ふてこそゆゑ、堂々の陣を張らねばならぬ、奈良の僧兵も明朝は來る筈なれば、よろしく其の來るを待ちて然る後に戰ふても遲くはあるまい』と爲朝の策を用られない、此時爲義も又進み出で義『恐れながら、某も一策を獻じ申候、何しろ敵兵多くして我兵は少なく、徒らに此御殿にて防ぎ候事なか／＼容易のことにてはなし、如かず速かに皇輿を奈良に進めたまひ興福寺へ行幸遊ばされ宇治橋を斷ちて戰ひ、萬一不利に陷り候時は關東に行幸せられ、臣關東の兵を糾合して大擧して皇輿を京師に還へさせ申すべしこれ萬全必勝の策でござる』と申した、頼長は『イヤ其策も妙なれど今や天皇位を奪ひ給ひ、神も人も共に憤つて居る、此機會に乘じて戰ふこそ最も時を得たるものにて、皇輿宮を出づれば世間よりソレ見よ、新院は敵の多人數に恐れ給ひて奈良に逃がれ給ひしと言はれん、是れ味方の士氣にも關係することなれば斷じて皇輿は宮を出るは不可であるぞ』と爲義の策をも用ゐられない、爲朝は御前を退き藤原教長に向つて爲『教長殿、殿上の公卿などは案外に軍事を知らぬものにて、誠に迂滑千萬なもの、御覧あれ我兄義朝は必らず今夜此所へ押寄せ参るでござらう、味方の敗北は目前にて明朝僧兵の來るを待つの暇などはあるべき筈がござらん』と長大息を致されました。



さて新帝の方は如何と云ふに、内裏は高松殿にありましたが餘りに狹くして便宜惡しゝとて俄かに東三條殿へ移り給ひ、關白忠通、少納言信西列座の上にて義朝を召して謀を問はれました、此時義朝は席を進み出で『上皇の方に於かせられても大分兵を召させられしと承はりまする、奈良の僧兵も明日は來りて敵に加はる由なれば、坊主共の來り加はらざるうちに一擧して勝を制するに如くはなし、夫はにて今夜夜襲を掛け候こそ最も然るべく存じ候』と申上げた、果して爲朝の申す通りであります、流石に源氏は武勇の家柄だけあつて、新帝の方にても上皇の方にても重きを置かるゝは爲義と義朝、實に源家の武勇は盛んなものであります、所が座にあつた少納言信西、是れも矢張邪智に長け居るけれども書物を讀んで居るだけに頼長のやうなことは言はない、直ちに義朝の策を採用した 信『義朝の申す如く夜討の儀、尤も然るべくと存ずる詩歌管絃は臣等の弄ぶ所なれども、武藝のことは武士に任せねば相成り申さん、況んや先んずれば人を制する道理、一刻も猶豫なく白河殿へ向ひ候へ』と四邊を見廻して申述べた關白忠通も『夫れ宜しからん』と同意したので朝議忽ち一決し直ちに武士一同出發の用意に及んだ、此時勅諚に依つて義朝に凱旋の日は昇殿を許すべき旨仰出された、此時義朝拜謝して申しまするには『臣の如きものに昇殿を許し給ふとは難有き次第、武士の戰ひに臨むには死は固より覺悟でござる、生きて還る心は更にござらんに依つて、生命のある間に昇殿の榮を得させ給へ』とつと立上つて進んで殿へ登つた、信西は顔色を變へ 信『コハ餘りに無作法ではござらんか』と制しましたが、帝は唯微笑まれて咎め給はず、義朝は大に悦んで殿を下つた、此昇殿と云へるは帝の御座所近くまで陞ることを得るのでありまして、人臣としては此上もない榮譽で、其當時藤原氏以外の人にして昇殿の榮を得ることは容易なことではないが今義朝に之れを許されたのは非常の恩典であります。

京城新報

官紀の振肅

（遂に其れ中止歟）

韓政府の日本官吏は、是れ統監の推薦する所に係り、推薦は即ち保證を意味す、此の統監の保證推薦する所にして不幸にも不埒の奸吏を見んか、統監は不明の譏りを招くのみならず、[illegible]韓國を荒らし韓人を誤るの人を以て[illegible]ず、苟も此の如きの人に至らば延ては我國の眞意を誤解する[illegible]未だ知るべからず、故に余輩は數々當路者に告ぐるに、其の人を得て[illegible]を以てしたるに、[illegible]奸吏の跋扈實に甚しく、官紀之れが爲めに[illegible]

[illegible]一時消えかけたる官紀振肅の聲も[illegible]大風一過復た跡なきの觀あり、[illegible]人をして排日思想を昂めしむるに至る

換國大使の兼任

東京電報

東京　墺國大使[illegible]レンバーク男は今回[illegible]兼任を命せられ來る十八日[illegible]本邦を出發する由（十一日發着）

全國茶業會議

開催　全國茶業組合會議は廿二日より靜岡市に於て開催する事に決し當日大浦農商務大臣臨場する由（同）

國法攻撃の運動

司法　[illegible]官の新刑法適用及び犯罪檢擧の峻嚴に過ぐる[illegible]人權を蹂躙する傾向あり[illegible]東京辯護士會が攻撃運動を開始したる問題は今次政治期間に入り政[illegible]にても大に議會に於ての意向あり議會の大[illegible]或は又々改正刑法案[illegible]至るやも計られず

豫算案印刷期

[illegible]省提出の豫算概算に基き各[illegible]一般會計は[illegible]會計亦近々完了すべく[illegible]査定を經て順次印刷[illegible]は十二月二日の豫定

非立憲の權問題

人權　[illegible]の手盛ならんとす[illegible]來右は涜職事件等に[illegible]なりしに嫌焉たる一[illegible]に騒ぎ立てたるもの[illegible]權威を犯かさんとす[illegible]なりと大審院判事は[illegible]

義勇艦維持難

帝國　[illegible]は既に二隻竣成し[illegible]濟なる爲め物議頻[illegible]は百四十餘の船舶[illegible]排するに充分なり[illegible]船舶を建造するに[illegible]剩へ斯かる不經濟[illegible]し思ふに同艦は無[illegible]徒らに維持に困難す

東京市の招待會

昨夜　東京市は[illegible]キッチナー元帥の招待[illegible]歡迎辭を述べき元[illegible]盛會なりしと余[illegible]元帥の快感を惹き[illegible]路し（同上）

伊集院公使歸朝

北京　駐淸[illegible]公使伊集院彥吉氏は近日歸[illegible]たり（同上）

水野總領召還

紐育　[illegible]總領事水野幸吉氏は召還を命せられ

英國の對淸政策

歐洲電報

英國　上院に於て殖民大臣クレーン伯はスタンホーム伯の質問に答ひ山東省に於ける礦山及び鐵道に關しては英國は獨乙の特權を承認せり又萬里長城以北に於ける鐵道に對しては英國は英露及び日英鐵道協約を締結し鐵道新敷設に關しては淸國政府の監督を受くべき事になりたるを以て此の機の事件は今後大に面目を異にせざるべからずと語りたり即ち同大臣の立脚點は楊子江鐵道山東省鐵道は門戶開放主義を維持すべしと云ふにあり（十一日東京經由）

授業料增徵虛說

[illegible]たるが別に意味なし（同上）

大學授業料增徵は從來斯かる提議なく斷じて虛說なりと福原專門學務局長は語れり

露外相と墺外相

露國　外相イスボルスキー氏は公文書を以て墺國のボスニヤ、ヘルツエゴブイナ併呑に關して外相エーレンタール男を嚴烈なる文辭を以て攻擊したるが之に對しては露國の新聞紙すら非難せるものあり（同上）

豫算と上院附議

英國の豫算案は愈よ上院の議に上りたるがタイムスの解する所によれば同豫算は極めて重大なる問題を含み之を國民に問ふとなくて通過せしむべきにあらざるを以て上院の在野黨は之が修正勸議を提出すべしと（同上）

雜報

各部豫算の出揃

明隆熙四年度韓國政府各部の豫算案は今十二日を以て全部度支部に出揃へり而して財務書局に於ては直に整理に著手したるが今月中に査定方針を決定し參與官會議に回付すべしと

全韓國民の追悼會

漢城府民會主唱となりて擧行すべき故伊藤公爵の全國民一致大追悼會は準備委員四百名を擧げ各道普く案內狀を發したりしが愈來る二十六日を期し同民會本部の石鼓壇に祭壇を設け盛に追悼の意を表すべしと云ふ

法曹協會の抗議

朝鮮の法曹協會は露國官憲が伊藤公暗殺の兇漢を日本官憲に引渡したることに就き歐洲各國在住の同國人の同情を得て歐洲列國政府に電報を發し右引渡しに就て抗議を申込み該暗殺は政治上の性質を帶ぶる者なるを以て露國官憲に引戻して露國裁判官に裁判せしむべきものなることを主張したりと哈爾賓發行のノーワヤ、ジーズニ新聞に記せり別項掲載の朝鮮人の憤慨事件と相對し注意を要する事件なるべし

韓鐵管理局の職員

韓國鐵道が鐵道院に合併され近々官制改正を以て發表さる可き由は既に報道せし處なるが該改正案は今明日中に樞密院へ御諮詢相成る可く其結果新設さる可き鐵道院韓國鐵道管理局職員は過般既に一大英斷を以て冗員淘汰を決行して間もなき事なれば此以上の節約は困難なり從つて現員には何等異動なく唯だ官制に基く辭令の交付あるのみなり而して官制改正の爲め大に利便となる可きは現業從事員にして內地と相互共通し得るを以て鐵道營業上洵に好都合なる可しと鐵道當局者は語れり

民長候補者の議會

昨夜京城商業會議所樓上に於て民長候補者推薦に關する內協議會を開きたるが前號所報の如く果して意見區々に涉り遂に一定の結果を得る能はずして散會せり今其模樣を報道せんに統監府一任說と二三箇月間延期說とに別れ外に二三議員の熊谷前民長再任說を主張するものありたり而して議長和田常一氏は今朝三浦理事官を訪ひ其結果を陳述したるが理事官は此報告を諒し直ちに統監府へ出頭協議する處ありたれば茲數日中には何等か決定を見に到るべし

排日新聞の憤慨

浦鹽發行ダリヨーカヤ、オクライナ新聞が同地に於て朝鮮人の發行する新聞紙が伊藤公暗殺に就て論ずる所なりとて記する所を視るに同事件が兇漢の愛國心に出でたるを稱贊し露國裁判にせよ日本裁判にせよ將た又淸國裁判にせよ死刑が此の愛國志士に對する賞たるべきこと疑ひなきも露國裁判所にて裁判せられんことを希望すと說き文明國民間に行はるゝ國際法の見解に依れば犯罪者が其犯罪の行はれたる國の法律に依りて裁判せらるゝを通則とすると論じ今回の事件は千八百九十六年の條約に依りて八十年間露國東淸鐵道會社が淸國政府より租借したる露國領土內に於て行はれたること疑ひなきを以て該事件は露國裁判に附するを當然とすと云ひ我黨は此事件を擧げて日本の裁判に附するを恐るゝものに非ざるも此の貴重なる犯罪人を猛惡なる敵の手に附するに忍びず此の愛國志士が惡徒兇漢と同じく殘酷なる拷問苦痛を忍びたる後汚辱の刑に處せられ死屍に鞭たるゝを思へば悲嘆の至りに堪へずと憤慨し今回の事件に就て大に氣焰を吐きつゝありと

龍山民團議員撰擧

龍山居留民團議員總選擧は愈々昨日を以て執行されたるが革新同志會及有志會の外昨日に至り突如中立派なるもの起り前記兩派中より某々七氏を拔き之れに川田又藏氏を加へて激烈なる運動を開始し之れと同時に川本隆治氏亦一部有志者の後援に依り單騎陣頭に現はれたるを以て糾紛又糾紛混戰更に激甚を極め九時投票開始の時刻に至るも運動者は腕車を八方に馳せて有權者の訪問勸誘に努め選擧場たる民團役所附近の要所に設けられたる各派の事務所は至て寂寞たりしが刻一刻集り來る腕車の數を增し運動者は續々歸來し撰擧人相踵で到り正午頃には全龍山の弱氣さへ野心を此處老松町に蒐めたるの觀あり殺氣立てる人々の眼は眼と相射て而かも相語らず暴風將に到らんとする大洋の氣味惡るき迄で打凪るが如き光景なりしも幸に些の衝突も起らず豫定の如く午后二時無事投票を締切り同二時十分長野氏監視の下に若會編、岸、渡邊三氏立會の上開票同五時五十分結了せしが其結果は左の如く革新會派十三名を擧げ有志會一名中立派一名川本氏單獨運動に成効し革新會絕對多數を占め前月來市民の血を沸したる龍山民團議員選擧は茲に結末を告げたり因に民長は昨夜直に當撰者に告知狀を發したりと當選者左の如し

二〇一票	國井　泉
一九〇票	大村　百藏
一八三票	林　武之進
一八〇票	松本　彌三
一七九票	兼古　禮藏
一七五票	海津　三雄
一六〇票	川田　又藏
一五六票	金井　善藏
一五〇票	竹內　菊太郎
一四一票	大森　嘉津藏
一四〇票	川本　隆次
一三七票	執行　猪太郎
一三三票	渡邊　與三郎
一三二票	稻垣　甚
一三〇票	藤野　秀吉
一三〇票	阪　敬明

次點者は左の如し
一〇九票森芳太郎、一〇五票莊司章七、九六票中野伊之七、九三票上野政次郎、八六票牛丸友佐、八六票佐藤峯太郎

●忠淸南道郡守會議

此程忠淸南道各郡守會議を公州に開催したるが會議件數百余項を算する內特に注目すべきは勤儉貯蓄の件、改正法の最衡實施の件、地方費に對する人民の誤解をとくの件、地理を基本として交通の便利を圖る件、養蠶傳習所設置の件、私立學校敎科用圖書唱歌々詞に關する件等にして就中地方費に對しては曩日の苛斂誅求に過ぎたる虐政と同一視せる傾向あり地方の發達を阻害する事少からず又私立學校にては往々不穩なる文字よりなりし敎科書を用ふるもの多く危險なる思想を培養する虞あり此二項目の如きは特に注目を要すべし

●日韓漁業協約紀念

韓國漁業法は四十一年十一月十一日發布せられ次いで十三日日韓漁業協定書發表せられ韓國漁業上の一新紀を劃せる紀念にして明日は恰かも其一週年に相當するを以て農商工部水產局にては明十三日盛大なる紀念宴を淸華亭に於て開く由而して午後一時より筑前琵琶落語福引懸賞の圍碁將棋等の余興を催ふし記念寫眞を撮影し局員に記念の杯を配付する筈なり而して出席者は趙大臣木內次官は事故缺席し他の局長は何れも賓客として招待する由

●仁川の埋立竣工期

仁川稅關埋立地の西端に目下鐵棧橋（長さ六十間巾五間）を建設中なるが來年二月頃迄には竣工すべく其れと同時に運輸部前の第二期埋立工事も本月下旬には竣工する豫定なれば仁川驛より鐵道線路を該棧橋迄延長して海陸連絡の實を擧ぐるは近きにあるべしとなり

●地方韓人の觀光團

明十三日金泉驛より慶尙道金山郡主事尹瑛烈氏主催の觀光團百二十名大邱迄乘車同地方狀況を視察し十六日歸鄕する豫定なるが鐵道廳に於ては此種の團體は今回を以て嚆矢なれば今後これが奬勵の爲め特に往復共五割引をなせり

●仁川韓人町の市場

仁川栗木洞及び外洞に諸雜貨並びに生活上必要缺くべからざる物品の市場を開設すべく近日中仁川府內面長より其筋に請願書を提出する筈なりと云ふ

●木內次官の出發期

農商工部次官木內重四郞氏が光濟號に便乘し北韓視察の途に就かるゝことは既報の如くなるが出發期は光濟號の都合もあり多分來る十八九日なるべしと

●品評會褒賞授與式

在大邱の中央農會慶北支會にて來る十四日午后一時より第一回農產物品評會褒賞授與式を行ふ由因みに今回の出品總數は七千余點の多數に達したりと

●大久保大將の參內

駐韓軍司令官大久保大將は來る十五日出發東上に就き韓帝へ御暇乞の爲明日午前十時經理部長小倉主計監參謀岡本中佐副官十時大尉を伴ひ參內拜謁すと

●鐵道期成會の交涉

本國議會開期も既に四旬の後に迫り來りしに就き京城同期成會に於ては右運動員上京準備として同費用募集の爲め目下發起間に交涉打合せ最中なりと

●拓殖總裁農事視察

宇佐川拓殖總裁は昨（十二）日嶺及井上理事を伴ひ平壤方面へ農事視察の爲め出張したるが載寧沙里院新義州鎭南浦等各地視察の上二十一日頃歸京の筈也

●兩校成績品展覽會

來る十四日より三日間西大門外全華敎育會主催の下に西小門內貞洞同門外美洞兩校の學童成績品展覽會を催ふす由

●齋藤大佐一行消息

十二月淸津港出帆釜山に向へりとの電報本日午後統監府に達したりと云ふ

●美濃部總裁の入京

北海道拓殖銀行總裁美濃部俊吉氏は曾禰統監病氣見舞の爲め昨十一日入京す

●鐵道廳の擊劍會

龍山鐵道俱樂部主催の擊劍會は明十三日午後一時より龍山停車場前廣場に於て開催する由

京龍最近の商況

（京城會議所の調査）

最近京城及び龍山に於ける商況は依然不振の境を脫せずと雖も本月に入りてより各地穀物豐穰の聲に伴れ右買出しの爲め資金の需用を喚起し市場幾分の多忙を現出せし折柄各地殊に北海沿岸に於ける豐漁等勇韓人側の人氣を引立てたるやの觀あり從ふて冬物に屬する綿布絹糸を始め韓人向雜貨は弗々賣行を見るに至れり又た一面日本人側は昨年來出入貨物の增加せざるに反し同業者の數非常に增加し各店共賣行著しく減少を來し何れも困難を感じ居れり然れども今や漸く結氷期に際し諸建築を急ぎ居るを以て板硝子類金物等の建築材料を始め其他一般各貨は可なりの賣行を見るに至り京城龍山を通じ稍や人氣引立んとするの狀態にあり今後月末以後に至らば大に活氣を呈するならんも上叙日韓人共市場幾分の活氣を加へたるが如きも久しく打續きたる不況の痛痍は癒難く從ふて根本的快復は今暫く見る能はざるの趨勢にあり

韓銀設立の披露

韓國銀行にては來る廿一日第一銀行より財產の引繼ぎを受け廿四日より業務を開始する筈なるが本月廿七八日頃曾禰統監以下日韓文武官民の重なる者千餘名を招待し盛大なる設立披露宴を開催する由會場には南大門通りに新築中の韓國銀行々舍の地下室を用ゆべしと

電車賃の大割引

日韓瓦斯電氣會社にては開業の祝意を表し明十三日より廿一日迄向ふ九日間電車一區間五錢の處三錢に引下げたり

未發行券の引繼

未發行に屬する第一銀行券は韓國銀行へ引繼ぎ其儘發行し得る事となれり

●防疫慰勞會開催　既報の如く仁川有志の發起に係る防疫慰勞會は本日午後五時より八阪樓に於て開催する筈

●飯泉法學士消息　前天一銀行の支配人たりし法學士飯泉幹太氏は今回主事として韓國銀行に入りたりと云ふ

●森安博士の歸着　出張中の大韓醫院勤務の森安醫學博士は本日歸京せり

●木越師團長一行　十三名は昨十一日午后四時新義州着直ちに義州に向ふ

●藤谷大尉の着任　憲兵大尉藤谷淺吉氏京城憲兵分隊付に轉任し昨日着京

●管田工學士入京　工學士管田繁氏昨十一日入京し天眞樓旅館へ投宿せり

●西川重役の出發　東洋捕鯨會社重役西川宗一氏昨日義州へ向つて出發す

●齋藤部長の歸任　慶支部參政部長齋藤金祐氏は十一日開城へ歸任したり

●陣軍吉氏の出發　成鏡北道警察部長警視陣軍吉氏は昨日釜山へ向て出發

●富山典獄の來着　京城監獄典獄に命ぜられし富山要次郞氏昨日着任せり

●松井警視の赴任　松井警視は昨十二日朝新任地木浦へ向け出發したり

●河內山氏の歸任　韓銀設立事務に關し東上中の河內山書記官は昨夜歸任

●釋尾氏夫人の訃　雜誌朝鮮主幹釋尾旭邦氏夫人は病病中の處今朝永逝す

▲治外法權▼

毎年の事だが冬期に入つて一番困まることは薪炭の値段が格外に上ることである、本年も愈々割方上つた、而して例年の通り薪炭は此頃に至つて夏期の頃から見ると五割方上つた、官宅や舍宅で官費社費の薪炭を焚く人達は何も感じまいが其餘の人々は大に困まらざるを得ない▲日韓瓦斯會社に特許を與へたのは燈火用よりは寧ろ採暖用に瓦斯を格安に供給せしむるのが主意であつた樣に記憶する、願はくは一日も早くゾレを實現して貰ひたい▲昨夜の京城民長候補者內議會は統監府一任說と二三箇月延期說の二說に分れ遂に決する處なかりしと是れに就き本日の電報通信は前者は官撰民長の謳歌者後者は優柔不斷爲す無きの徒なりと憤慨して居た、吾人は居留民の代表者たる議員諸君に向つて此醜を放たしむるに至りしを悲むものである▲本日着の都新聞は排日思想の養成と題して下の如き言論を載せて居た『韓國不穩の報頻々來る、伊藤公の事變を聞きては上下とも謹愼の上にも謹愼を表せざる可らざるに之を機會に暴動を起すに至ては其悲歎驚くべく、又排日思想の如何に盛なるやを想見すべし吾輩の見る所に依れば排日思想を有したるは始めは一部の政客と儒生のみなりしも、統監府が李朝の舒きことを致ゆるに隨つて排日思想は益々全國に瀰蔓するもの～如し、吾輩は此點に就て經世家の十分考慮すべきものたるを信ず』

露國官憲の注意

（伊藤公凶殺に就て）

公暗殺の兇漢を捕ふると直ちに豫審を開き終日絕えず審問を繼續して夜に入り夜半十二時に至りて漸く審問を了り[illegible]

[illegible]事ストランツフ氏、哈爾賓驛鐵道警察部長陸軍騎兵大尉クナーブ氏、探偵部長陸軍大尉キユセルゲエン氏にして兇漢[illegible]

[illegible]到來したりと云へり此れ迄捕縛せられたる朝鮮人八名あり（內兇漢二名の外首謀者二名）審問了りて後兇漢は日本領[illegible]

[illegible]に收容し日本領事館にて其費用を支辨する事としたり伊藤公暗殺審問事件の調書及證據物件等は露國官憲より日本領[illegible]

[illegible]過般開會せし管區長會議列席の爲め入京せし海州管區長憲[illegible]氏京州管區長[illegible]長同給水喜代三の諸氏は會議終了を告[illegible]

綜合すれば左の如し
露國官憲が去る十月二十六日午前伊藤公を道したり此審問に與かりたるは豫審判事
件十二時に至りて漸く審問終了り露都聖彼得堡の中央政府に其顛末を報
韓國大尉キェルゲエン氏にして兇漢の職業を訊問したるに兇漢は京城以北の山にて●●業を營むものにて元山より
業者二名）審問了りて後兇漢は日本領事館に引渡されしが自餘の拘留者は日本領事館に收容所のなき爲め露國監獄
露國審問終了後露國官憲より日本領事館に引渡されたりと云々

●管區長會議の終了
同石崎直太郎氏高城管區長同瀨川嘉次平氏春川管區長同相原五郎氏鐵原管區

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十七號
京城居留民團立京城中學校學則中左ノ通リ改正ス
明治四十二年十一月十二日
京城居留民團民長代理助役林田茂七郎
記
一學則第九條中「學期ノ始」ヲ「第二學期ノ始メヨリ十日以內」ニ改ム
二學則第十二條中「日本歷史及日本地理」ヲ「日本歷史日本地理及理科」ニ改ム
三學則第十三條ニ左ノ一項ヲ加フ
第一部第五學年ニハ轉學又ハ該當學年ニ於テ退學シタル者ノ再入學ヲ除クノ外新ニ生徒ノ入學ヲ許サス



福井茂兵衛優（十四）

▲當時壽座に出演する

敵に當時遍く天下の驍將を集めた大一座で迚も當るべからざる雄勢であつたけれ共人氣といふものは妙なもので、反て無人芝居の僕の方が多大の同情を惹き寄するよりも樂に成功した、爾來相對峙して鎬を削り道頓堀に烈しい火花を散らして居たが何時の程にや成美團も有名無實の姿となつて衰微へた折柄三十四年の一月川上音二郎が第二回の歸朝をしたので歡迎會を兼ね朝日座に一週間の大合同劇を催した、一座の顏觸れは川上、高田、岩尾、秋月、小織、喜多村、藤澤、山岡、木下、永瀨、五味に僕等で伊井と木村猛を除いた外現今の座長連を悉く網羅した大一座場代は先年團十郎が大阪歌舞伎座に乘込んだ時十三圓であつたから這度は十六圓と極めた恐らく關西に於ける空前絕後の値段附でしよう、これを打揚げ川上と一緒に東上して明治座に「オセロ」を演り間もなく下阪して再び朝日座に還入つた。

三十五年の正月京都夷谷座から招聘れ客員の名義で靜間一座に加入し翌月新築の明治座に引移り八月迄同座に勤めて居たが演劇改良に就て意見の衝突から斷然分離して四條南座に據つた。

僕は久しい以前から時勢の要求に應じて演劇の改良をやりたいといふ念は懷つて居たが種々の事情が纏綿つてこれが實行を見るに至らなかつた、處が此の頃京都では大學教授の文士連や有力家紳士及藝人の間に演劇改良會なるものが組織せられ僕も評議員に選ばれたので年來の宿志を試す好時機と直に四條南座に木村猛夫、熱海孤舟、村田正雄、井上正夫等を糾合て理想の芝居をした、先づ脚本の選擇に意を用ひ一番目に高安月郊氏の作「月照」、二番目に鳥華水氏作「闇の光」を据ゑ、切符制度を初めて採用し、開演時間を短縮し其他芝居茶屋の客席で草履を穿く事、食物をすゝめて賣附ける事、汚れた衣類を着する事等を嚴禁した、閉場後成蹟を調査べてみると劇そのものは無論成功したけれども觀客の劇觀が進步して居ない悲しさには人氣の點に於て失敗であつた事は免れなかつたのです殊に飮食物の販賣を禁じた爲め前茶屋其の他の營業者の反抗を買ひ或晩の如きは芝居を打出し宿へ歸る途中、四條橋に差掛ると柳の木蔭から覆面の壯士が數多現れ「ヤレ待て」と怒鳴と同時に擲り掛けた既に致命傷でも負ふ可き處を通り合した川端の俠客山本鬼太郎、行事の木村虎之助二氏に扶けられ辛うじて生命丈けを取り止めた樣な危險に遭遇しました（まだある）

喜劇振られ壯俳

▲男地獄泉次郎が事
▲舞臺は平壤の壽座

れ前一人と定めていて浮氣は其日の出來心と唄の文句にもあるぢやないか殊には浮いた稼業の壯俳と立派に政府から鑑札の下つてる身の上だ女の一人や二人喰ひ荒したからつて何も彼れ是れ文句をいはれることもあるまいと何も今更感ずる樣な其樣初心者は一人もない上は座長から下は馬の後脚に至るまで藝は二の次ぎ女たらしを本職の遂先き頃まで當地歌舞伎座に楯て籠り居たる愛澤一座のデモ俳泉次郎年の加減か假髮の爲か但しは親の梅毒を背負つて生れた其の爲か頭も少々は禿げかゝつた身を持ちながら先頃平壤座の舞臺の際々に只管の女荒らし都樓のれ艶一人は宿の女房內地以來の可愛い奴なればまだしも別ものと奉つてれいて荒したは〱緣町ばかりでも光菊に福勇その他二三人大凡の男ならはさ〱女の臭にも飽き果てる頃なるを其處は名題の女好きとてなか〱然うは行かず熟々考ふれば從來自分の關係筋は什れも此れも多少は十人並の女連ばかり斯う何時までも人形喰のみをやつてた分にや天晴二枚目の顏にも係る譯け何も容貌で惚れはしやしまいし彼奴も存外青二才戀の諸分の初等生さと他の連中に譏られんも業腹なれば一ツ毛色の變つた女をと舞臺に出ても鵜の目鷹の目見物の婦人連に注目たさ〱怠らなかつた誤熱心の効あつて泉がこれならば如何なこと人形喰さの譏りは受けまいと目星をつけたのは誰あらう窈くなかれ否所願が所願ゆゐ寧ろ當然なるかも知れぬがうの白羽の矢を立つた主は壽樓の大姐市子別名ボルチオ會長夫人閣下で偖て居らなつては戀ほど恐しいものはなく市子がドス黃黑い顏色から縮つ毛の生具合扱は鼻の天向た樣子迄か一々泉が思の種となり古い文句だが寢ては夢覺ては現まぼろしに惱された果が或時四邊に人なき折を見濟まし芝居茶屋の二階で島渡市子に當りを附けて見るとこれは又意外へン人を莫迦にれしてごわせん人が默つとればよかばつてんと其澀亂らなことは措いてれくれ少々人が違いまつす憚りながら男地獄の內幕位知つてる妾だ誰が人とズドンと一發さらぬだに少々恐い面色を一層恐ろしくして睨めつけたので固より見かけに似合はぬ小膽もの泉は其儘キヤツト悶絕して二階の段梯子をコロ〱さ土間へ轉げ落ちるを尻目にかけて意氣揚々と市子夫人は歸つたといふが壯俳を鼻にかけて余り女を喰ひ荒らすと斯んな目にも遇ふものと知つたら近々當地へ來ても決して大きな面で女は口說けぬことなるべし

●駈落女郎取押らる
▲情夫は檢東女郎は逆戻り

兵庫縣神戶市大海通四ノ一六〇番地平民河井房造（四〇）といふ無賴漢は奈良縣高市郡今井町番地不詳吉川きぬ（二三）を內緣の妻となし常に京阪地方を徘徊して多數の無賴漢を集めて不正行爲をのみなし其筋の注意人物なりしが警察の警戒怠られざるに依り思はしき仕事も出來ず遂に一策を按じて昨年春內緣の妻きぬを大阪難波新地四番町百六十六番地貸座敷中野孝三郎方へ四年間三百圓にて娼妓に賣り源氏名を梅枝と名乘りて浮河竹の勤め奉公を爲さしめ已れも懷の都合好き時は登樓なして惡緣を續け居たるが茲に惡謀を企て本年四月梅枝を竊かに足抜させて駈落して釜山に渡り相變らず不正行爲のみ働き居たるも追手の來るを恐れ九月京城に來り本町六丁目に僞名して住居し益々惡辣手段を廻し居たるを炯眼なる南部署長野刑事の探知する所となり內探の結果前記の舊惡露見せしかば直ちに同人を本署に留置し餘罪取調中なるが茲に哀れを止めしは前記きぬにて照會に依り抱主大阪より昨日到着して同人を引連れ歸阪の途に就きたるが秋深くして露滋き旅寢の夢や如何なるらん懷ひ行られてあはれなり

●拐帶犯人の就縛　原籍大阪府泉北郡白井村字中筋虎吉の次男神田仙吉（二七）と云ふは大阪西區阿波座町の某商店に奉公中賣掛代金三百餘圓を拐帶して滿州に至り更らに一昨日仁川に來りて昨日所報の拐帶犯人原田光雄の投宿せし旅館と同一なる本町一丁目花屋の而も光雄と同じ部屋に滯泊し居りたるを仁川署刑事の手に取押へ尙ほ餘罪ある見込にて取調中なるが殘金五十六圓を所持し居りたりと

●美人市中に迷ふ　蓬萊町番戶

不詳濱田りつ（二五）は本日午前八時頃入浴に行きたる儘歸宅せざるに依り同人の知人より此旨南大門派出所に搜索方願出で置きたる處同人は昨日新義州より來りたる者にて我家の住所を知らず遂に尋ねあぐみて南部署に保護を願出でたれば直ちに知人を呼出して引渡す

●大工韓童を撲る　旭町一丁目二百六十一番戶山田方止宿大工職山田友之進（三八）は昨日午后三時頃京城婦人科病院に至り韓童に便所を案內せよと云ひたるを日語を解せざる韓童のこれに應せざるを大に怒り突然同人を毆打せし騷ぎに遂に其筋の厄介となり事濟

●窃盜犯人の處刑　仁川署有馬部長が新昌洞にて格鬪の上逮捕せし窃盜犯大下淺市（二四）は一昨日仁川裁判所にて公判開廷の結果懲役六年に處刑され同じく仁川宮町中上藥店外京龍仁の藥店を荒し廻りたる出羽曾根造は同日懲役三年に處せらる

●學校生徒の窃盜　仁川龍洞居住の李明化長男今成（十三）と云ふは一昨夜同町の理髮店伊藤操方の店頭にて剃刀二挺及び金二十錢を窃取して取押へられ本署に引致されしが同犯人は女化學校三年生なりと

●あんまり酷い人　京釜線大田驛居住の雜貨商永見壽市（三八）は仁川宮町三丁目居住の村田立二（二六）と云ふ按摩に賣掛代金三圓五十錢あれども如何に請求しても支拂はざるにぞわんまりだと仁川署に其旨訴出で立二は說諭さる

●靜岡女郎のれ灸　新町遊廓第一樓支店抱娼妓靜岡は去る十月卅一日より十一月三日まで許可を受けずして本町十丁目安田貞藏方へ外泊せし廉に依り一圓五十錢の科料に處せらる

●仁川寺藤公追悼　仁川寺町の仁川寺にては明十四日午後一時より伊藤公の大追悼法會を擧行する筈なり

●大師報恩講執行　仁川西本願寺出張所にては昨日より十六日迄宗祖大師の報恩講を執行すべしと云ふ

●南山本願寺說敎　明土曜日午後七時半より例會說敎あり參聽隨意

●一昨夜の新町　遊廓の嫖客は七十九人消費高四百廿六圓五十九錢なりき

吉凶鏡

本町五丁目　三一舘判斷

十一月十三日舊十月朔日五黃佛滅丁丑みつ△一白●紛糾事若くは家庭內に爭論起り易し豬創始故易の事効なし旅行見合すべし△二黑●婚姻集團結社等の事凶到底破綻を免れず其外平凡△三碧●盜害親族間不和中絕を戒しむ旅行凶賣買取引稍々大なるものは之を見合すべし△四綠●不利不振の日なり新事見合の事務に陷ぬるなかれ悔あり△五黃●新事見合の事保證受印謝すべし酒色賭事を戒しむ△六白●增益の日なり大凡吉但し人より咎又は疑にわふあらん△七赤●仕官就職入門創業開店等大に吉但し身体下部の痛症残るべし△八白●轉住轉業等吉從者使用人家族より災害若くは損害あり△九紫●旅行移轉開店創業凶其外平凡病者は療養に留意し健者は衛生に留意すべし
右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接に同舘の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

▲物足れば足るに任せて足らぬなり足らぬを足ると知るは萬足るの初なりと、之れ僕の座右銘で偖くて向上の氣を養ふて居るのだ（哲漢生）●●▲西小門通りにいしかはと云ふ淫賣屋があるが先日其所の酌婦が二人まで逃げたので亭主殿青くなつてムる逃げ出した原因と云ふのは一人の方は亭主殿が一つ摘んだからなので大枚廿五圓を踏み倒され一人の方は本町邊の同業者の家に居たのを前の女の跡へ六十圓出して抱へたのであつたが此れは好イな好イな情夫が影で糸を引いて逃がしたのだ相だ然るにても合計僅かに八十五圓を踏み倒された丈けでモー遣り切れないひいしかいはの身代は餘り大したものぢやないらしいとの評判ぢや（注進生）●●▲龍山老松町の八藤の橫手で袋叩きにされた〇〇〇〇〇の龍山〇〇〇〇〇さんは揚句の果に八藤へ引つ張り込まれて大散財をさせられ無けなしの總額を下げた所は少々振い過ぎて困つて御坐るだらう●●百圓にはモー懲りたが爲です（ケー●●エス生）▲出雲大社敎會事務所へ申す貴神社の取り消しは御申込みの當日本紙三面欄に掲載せり御通知申す（係）▲何所の新聞であつたか女學生が待合這入りをすると云ふことが掲て居たのを見た事があつたが彼れは事實です悲しいかな事實です賣淫してまで英語の少しや漢學の僅かを習はねばならぬと云ふ法はあるまい如何に金が貯めたいからとて泥棒を爲てまでも貯める必要がないと同じではあるまいか食ふために學問をするならば夫れに要する費用を持つて田舍へ這入つて田を作つたり豚を發つたりした方が利益やわるまい、昨宵穢れたる男子の唇に接した口にて今朝孔孟の敎へを繰り返したとて夫れが抑も何になるものか僕は思ふても涙がごぼれるのだ（紅）



●天氣豫報（自十二日午後六時至十三日午後六時）
西風晴
十一日（華氏）　最低溫度　四六、九　最高溫度　二七、五

各種洗濯石鹸製造販賣
專門 用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●小僧入用 年齢十五六歳にして身元引受人ある者二名至急入用 明治町 日韓印刷會社
●至急求職 確實なる保證人を有する身體强健なる壯年男兒如何なる勸勞にても厭はず至急職を求めたし氏名在社
●會事務員 相當の教育ある靑年至急職を求む 氏名在社（四七三）
●外交員募集 一日一圓以上の收入ある外交員一名至急入用氏名在社（四七七）
●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店（四八〇）
●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸禮生花等女子に必用なる教育を施す氏名在社（四七九）

楢崎正五郎
至急現住所知らせ 社内 酒井

物件部

●醫院讓渡 京城市内有望の地希望の方は至急申込あれ 氏名在社（四六三）
●京城旭町一二階四疊半二間賄付貸たし但可成官吏を望む氏名在社（四六四）
●電話讓受たし 京城黃金町廿番戶農商工部前通り 京城勞働組（四六五）
●本町表通一等地商店向間口二間半家賃廿圓の處造作悉皆四十圓にて讓渡度し希望者は鐘路赤帽子號高橋方へ急談
●貸家本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ氏名在社（四七〇）
●自轉車 英國製コースター付格安に賣渡したし 氏名在社（四七六）
●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戶物置湯取付家賃面談 氏名在社（四七八）

廣告

入院隨意
龍山新市街山下町
内科 小兒科 眼科
原醫院

龍山榮町
歐米新式 高等裁縫
田口洋服店
電話三一二番

龍山老松町
陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業
磯口商店
電話一一九番

龍山若松町
島崎鐵工場
電話四四一番

龍山元町三丁目
長尾醫院
院長 醫學得業士 長尾乙二

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院長 醫學得業士 中島貞信



●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す弊場民に此に留意し好良の食料を給す

京城本町五丁目（電四七番）
販賣元 仁松尾支店
京城 搾取所 仁松尾

●弊場搾取の牛乳を愛飮せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飮用し得らるべし

電話番號
株式會社第一銀行 韓國總支店
第三三一番 第三三二番 第六一二番
但夜間當直用は第三三一番を用ゆ

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

荒物世帶道具一切
大阪 製白絞油 和洋蠟燭
和傘 岐阜提灯 魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇番 略（ニカ又はニ） 振替貯金口座東京（九四一七番）

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿 文房具 學校用品 卷紙封筒 帽子 洋傘 洋服附屬品 メリヤス類 毛布 膝掛 石鹸 香水 タオル ハンカチ 手袋 靴下
諸紙類 手帳 鞄 クツ 一式 馬車 一式 齒磨 類物類
正札 一 引なし
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨 卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

蒸氣消毒 牛乳 京城大和町一丁目 下山牧場
電話三一三番

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
東京火災運送保險株式會社
京城代辦店 本町四 山口縣服店 電話九番
事務所 京城本町二〇三 電話一〇六〇番



原料直輸入廉價調製各種木形新着
弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選し得意向に合ふ様作るに努力し常に諸彦の御滿足を得るやう勉めて居ります 報次第店員を派し地方は御一報下され候
京城本町二丁目（郵便局前）
北村支店
店主 礒部廣吉
深ゴム靴 五圓五十錢 編上靴 五圓五十錢 浅靴 …

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋 唐川商店
電話六一二番

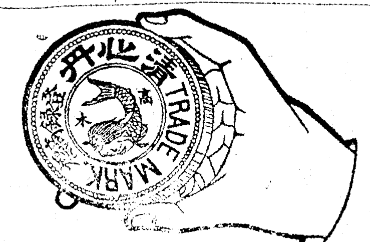
代理店
京城南大門通新井藥房 京城本町三丁目新井藥房 藥房第一分店 藥房第二分店



時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話長一〇七番）

會席御料理御一人前
肴四品付酒二本 金六十錢
すき燒其の外應御好
京城竹園町一丁目
遊樂樓
（元三遊樓跡）

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、精酢、穀物類、銘茶、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米、糀、鹽、辛、日本食鹽、各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候



懷中要藥
清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして疾病の豫防に妙
清心丹はひを快よくすること妙
清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤ならしむる特效有を以て發聲家其他交際場裡の必要藥なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は甚さ淡さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇效あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）廿錢十五錢（紙包）の八種あり二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

代理店
京城南大門通三丁目 電話（九百四番） 新井藥房
京城本町三丁目（電話四七八番） 新井藥房分店

營業科目
諸官衙御用品調達
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 各學校御用品調達

委託販賣
東京 ランバーダ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 齋鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京築地電話新橋三六九二

廣告

[illegible]

各種暖爐



煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
京城本町五丁目角一番戶
電話四七一番
馬木勇吉
龍山山下町兵器廠前鐵道入口
電話三六四番
馬木支店

純良 消毒 檢査濟
牛乳
韓國畜産株式會社
南大門外（電話八八番）

入院隨意
内科 外科 小兒科 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

入院隨意 各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番

焦心罩志多年爲斯道難於微義奥旨恍然似有得者匪鑿推臆斷吹吹茫洋難愈涸
易斷 相談 教授
京城本町五丁目
三一館
館主 土御門派大陰陽師

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店內）

日本郵船株式會社
仁川 瀛船出帆廣告 電話十番
仁川海岸通 電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十一月廿日午後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出
●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 十一月十七日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事